

笹尾根山行報告

【山 域】奥多摩

【ルート】笹尾根

(槇寄山～浅間峠)

【登山方法】ハイキング

【日程と天気】2019年1月13日

曇りのち晴れ

【メンバー】CL 吉瀬、清野(記録)

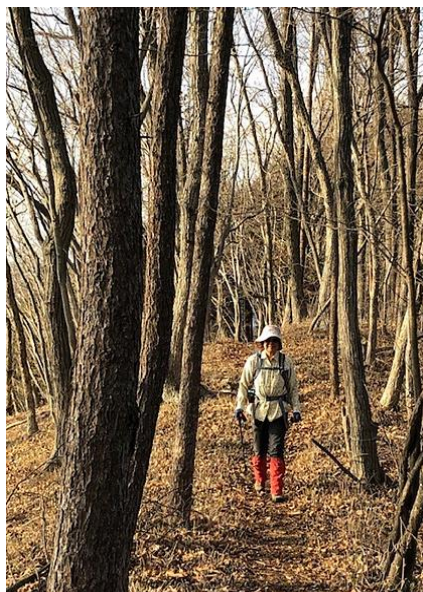
【行 程】

JR 武蔵五日市駅 9:00→仲の平バス停 10:00→槇寄山 11:40→数馬峠 12:20→丸山 13:10→土俵岳 14:30→浅間峠 15:30→16:10 上川乗バス停 16:23→17:00JR 武蔵五日市駅

【内 容】

JR 武蔵五日市駅の数馬行きのバス停にはすでに、登山客で長蛇の列ができていた。幸い増便が出て、乗車時間1時間を座っていくことができた。

仲の平バス停で下車したのは、私たちだけだった。アスファルトのなだらかな上り坂を進み、民家の脇から山道に入っていった。植林帯の中を進み、尾根道に出ると、自然林となっていた。前日、少し降雪があったようで、うっすらと雪がところどころ積もっていた。さらに登っていくと笹尾根の稜線にある西原峠に出た。そこから進行方向とは反対側に位置する、今回のコースで最も標高の高い槇寄山に登った。曇っていたので、展望は得られなかった。



西原峠に戻って、笹尾根縦走路を南東に進んで行った。道中、標識は沢山あったが、脇道もあったのでCLの吉瀬さんはこまめに地図を確認をしていた。数馬峠を過ぎ、丸山に着くころには、陽がさしてきた。しかし、見えるはずの富士山は見えなかった。

小さなアップダウンを繰り返して、気持ちの良い自然林の中を進んでいくと、土俵岳に登りついた。山頂からは、大岳山、御前山を見渡すことができた。

さらに進んで行くと、目の前にピークの高い山が見えてきて、疲れた足でこれを登るのかとちょっとたじろいだ。意外と楽に登れた。このピークを降りていったところが浅間峠だった。



ここから先は関東ふれあいの道になっていた。バスの時間に間に合わせるために、足を速めて下って行った。上川乗バス停には綺麗なトイレと、5台とめられる駐車場が隣接していた。バス停で身辺を整えていると、バスが来た。帰りも座ることが出来た。

今回、富士山は見る事が出来なかったが、笹尾根はとても気持ちのよい縦走路でした。

清野（記録）